

BJT受験者分析 ～ミャンマー（2015-2016）～

公益財団法人 日本漢字能力検定協会
海外事業部 BJT・海外普及チーム

1 BJTセクション別正答率

世界平均とミャンマー平均のレーダーチャート比較

BJT問題セクション別設問

セクション1 (聴解)

- ①描写問題 写真を見て、どれがどのような場面であるかを判断し、音声の選択肢の中から正答を選ぶ問題。
- ②表現力問題 写真を見ながら、その場面ではどのような話し方をすることがふさわしいかを音声聞いて選ぶ問題。
- ③聴解問題 絵を見ながら音声を聞いた後、短い会話を聞いて、設問に対し、音声の選択肢の中から正答を選ぶ問題。

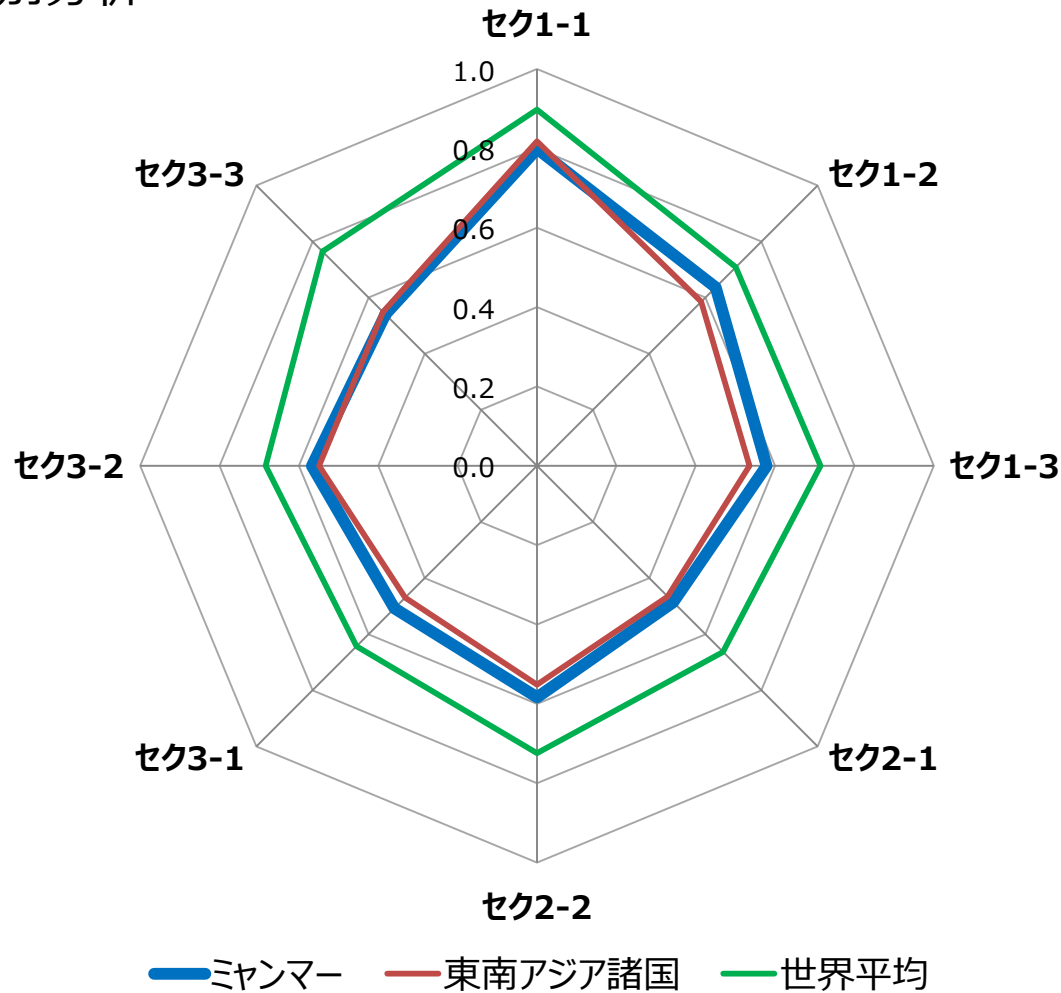
セクション2 (聴読解)

- ①描写問題 音声の指示に従い、写真や絵を見て、それがどのような場面であるか、あるいはどんな文書情報であるかを判断し、文書情報または図中に提示される選択肢の中から正答を選ぶ問題。
- ②聴読解問題 絵を見ながら音声の設問を聞き、そのあと、短い会話や説明文を聞いて、設問で出された課題に対して、文書情報または図中に提示される選択肢の中から正答を選びます。

セクション3 (読解)

- ①文法・語彙問題 文や会話文を読んで、空欄にどのような単語あるいはフレーズを入れるか、文字で示された選択肢の中から選びます。
- ②表現力問題 文や会話文を読んで、空欄に入れる表現を、文字で示された選択肢の中から選びます。
- ③短文読解問題 ビジネス場面でよく使われる掲示、標識、図表、ビジネス文書などを読み、設問に対し、文書情報を読んで、文字で示された選択肢の中から正答を選びます。

各セクション 地域別分析

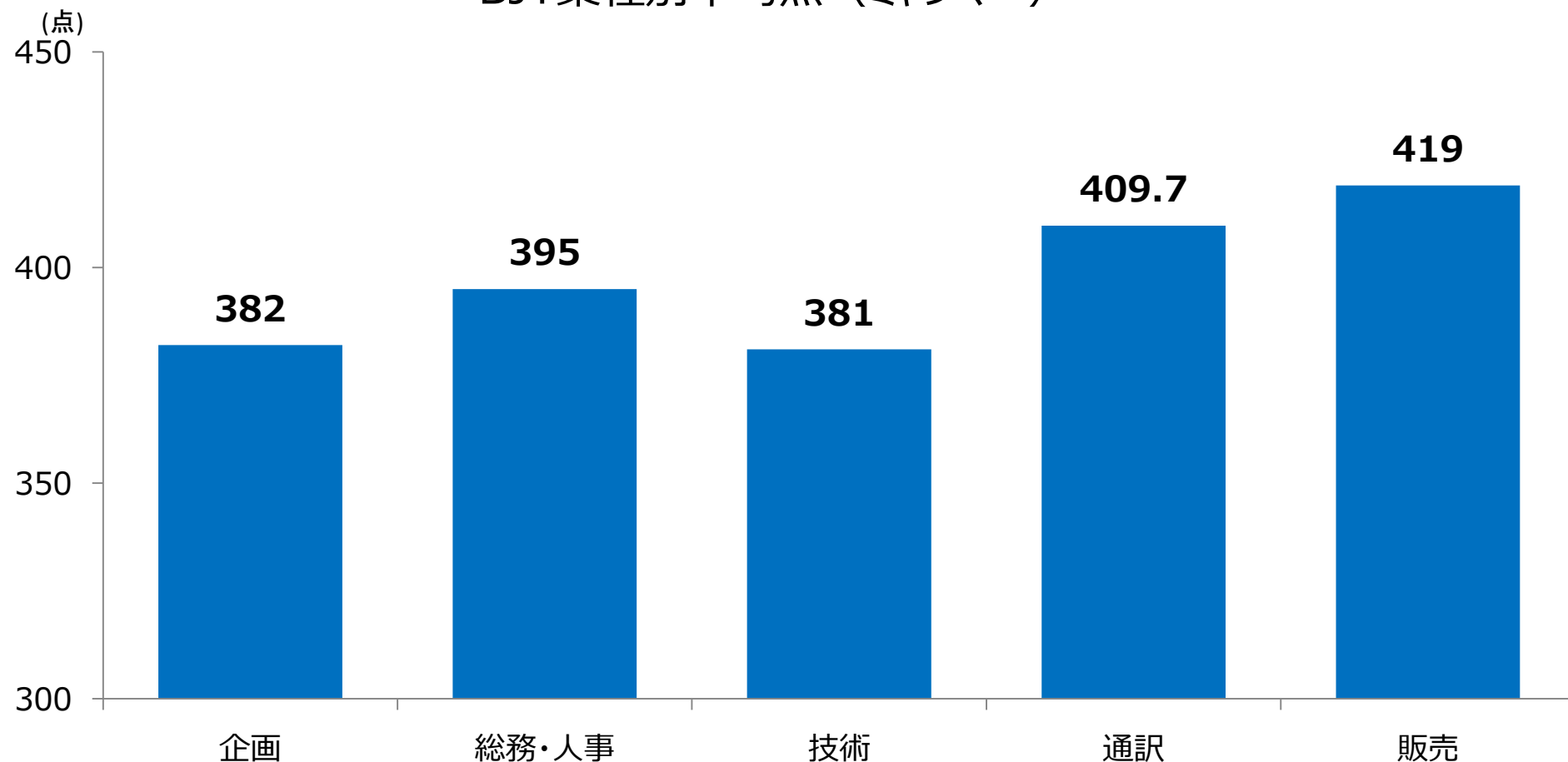


他の東南アジア諸国よりも日本語のレベルはわずかではあるが総じて高い。特にリスニングはリーディングに比べると高い傾向がみられる。

2 各種スコア

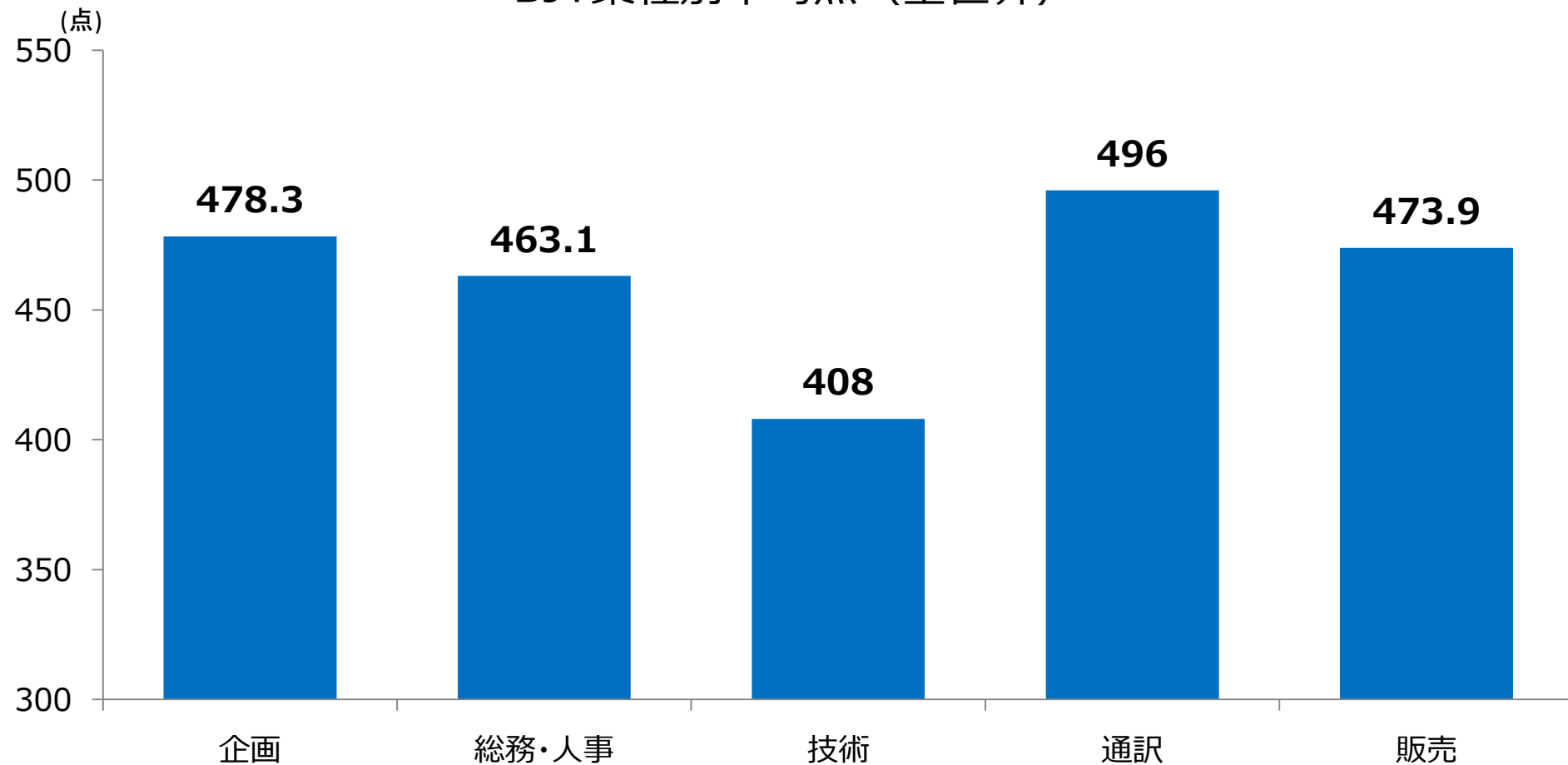
世界平均とミャンマー平均の比較と分析

BJT業種別平均点 (ミャンマー)



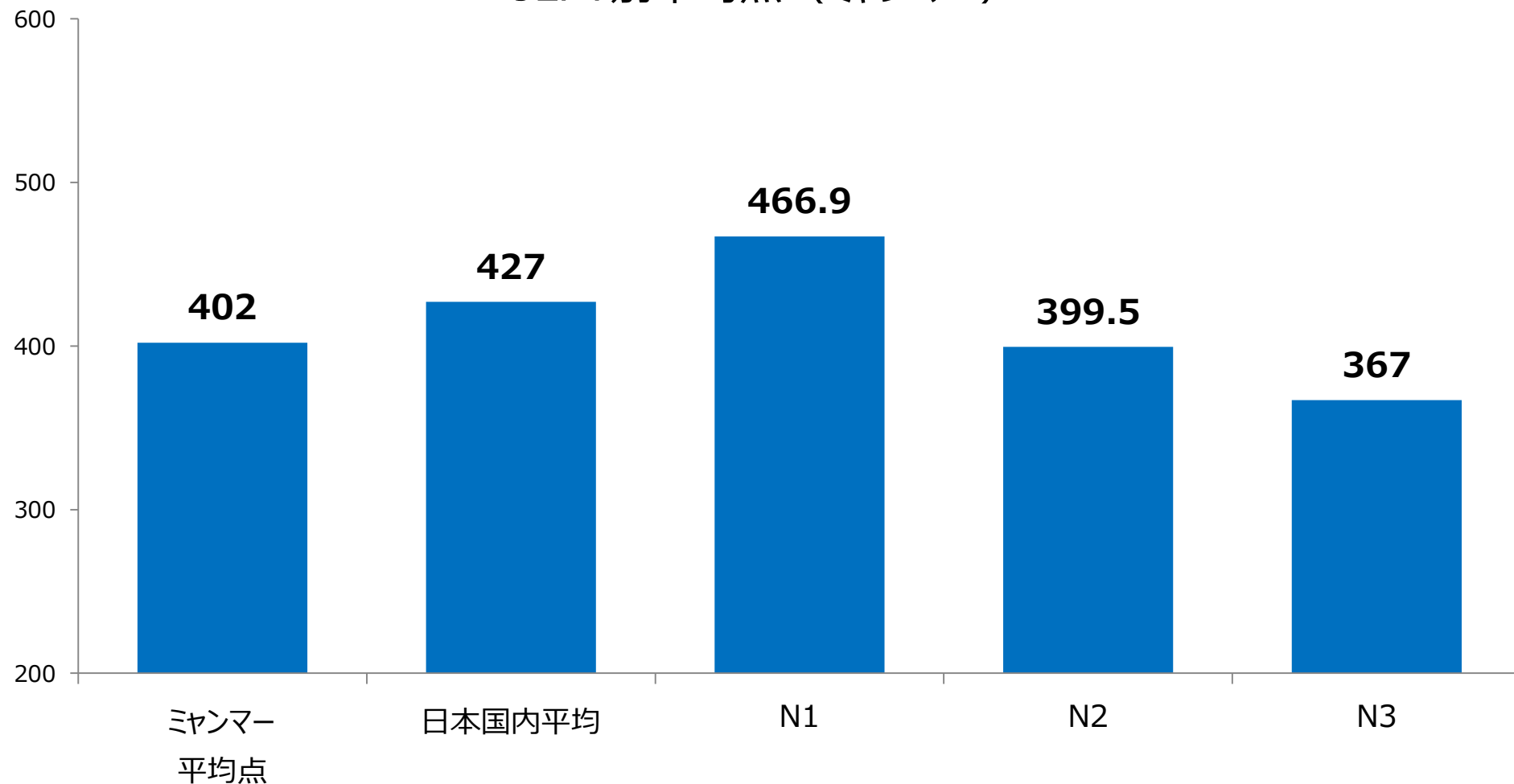
ミャンマーでは受験者の85%以上は社会人。学生は1割程度。
日本人と接する機会が多い業種の人材は、比較的日本語のレベルが高くなっている。

BJT業種別平均点（全世界）



(点)

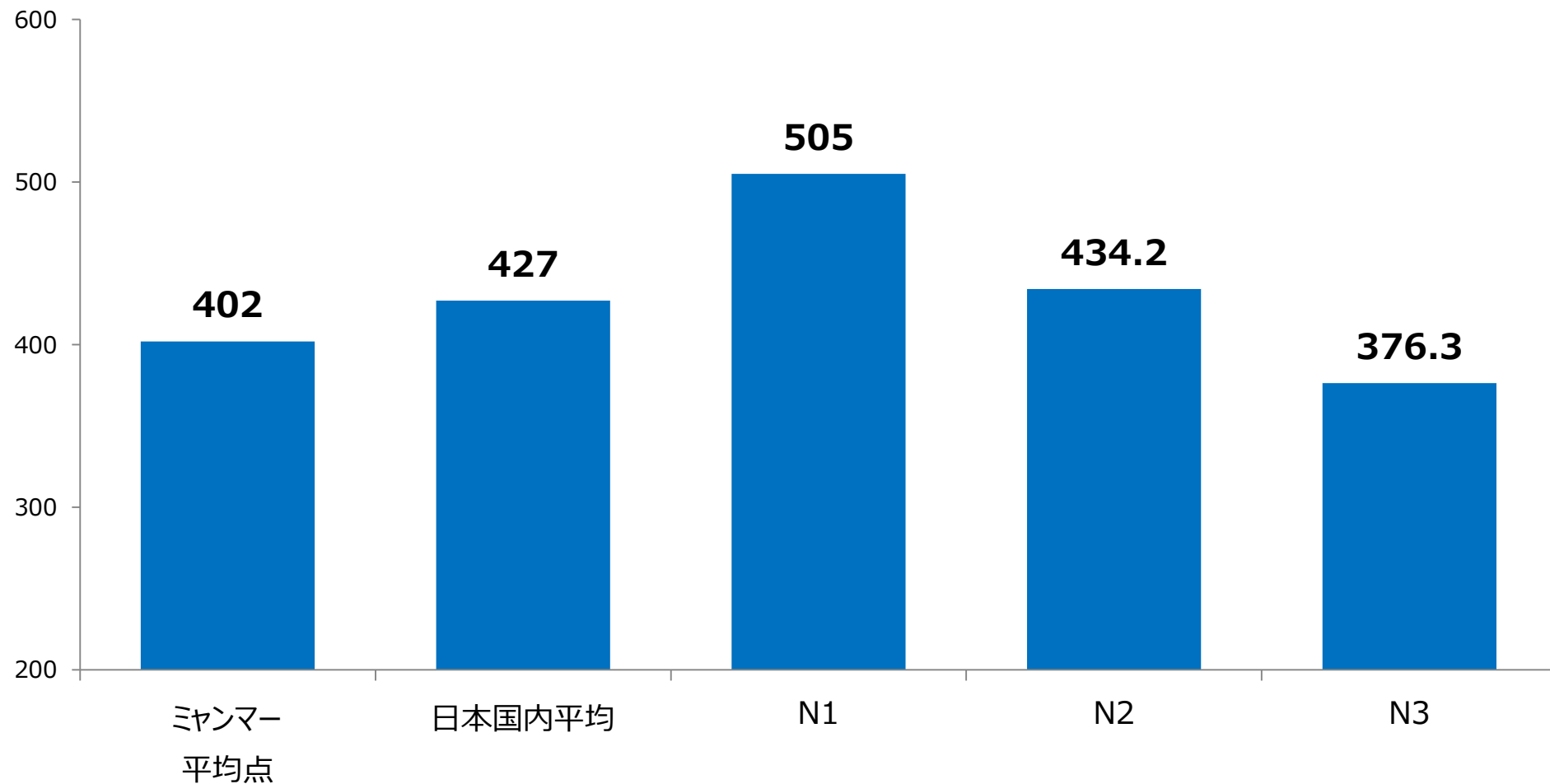
JLPT別平均点 (ミャンマー)



参考)N1最高点:614 最低点:390
N2最高点:482 最低点:342

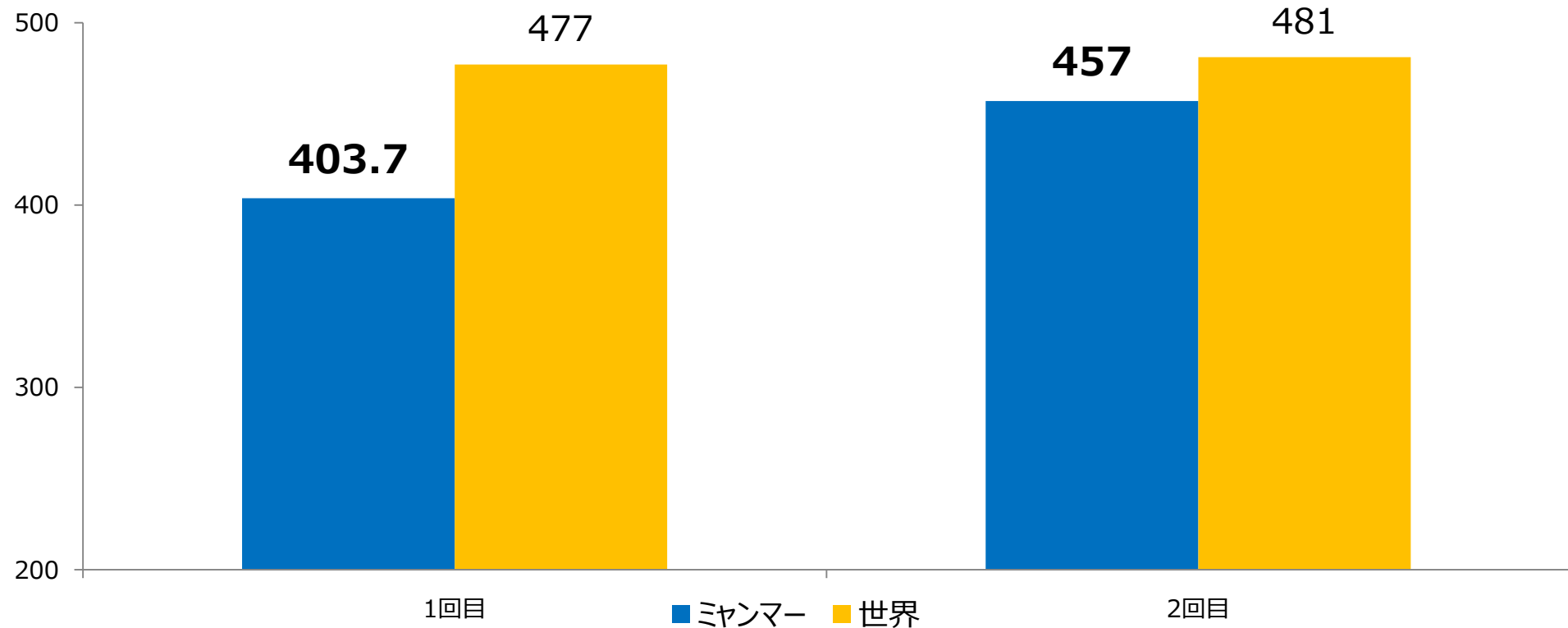
(点)

JLPT別平均点 (全世界)



世界とミャンマーの平均点を比較すると、N1、N2保持者のBJTスコアは約40点の差がある。これはインドネシアなど他の東南アジアに比べても差が大きい。
⇒日本語の知識量に対して、日本語の“活用力”の足りない人材が多い。

受験回数別平均点比較



ミャンマーの受験者は受験回数が増えるにつれてスコアが伸びる傾向がある。
⇒目標を持って学習をすれば日本語能力は他の国よりも伸びやすい。